



自習 & ハンズオントレーニング資料

Backup Exec 16

BE16-09

仮想環境のバックアップ準備 – VM編 –

ベリタステクノロジーズ合同会社

テクノロジーセールス & サービス統括本部
セールスエンジニアリング本部

免責事項

- ベリタステクノロジーズ合同会社は、この文書の著作権を留保します。また、記載された内容の無謬性を保証しません。
- VERITAS の製品は将来に渡って仕様を変更する可能性を常に含み、これらは予告なく行われることもあります。
- なお、当ドキュメントの内容は参考資料として、読者の責任において管理/配布されるようお願いいたします。二次利用される場合、弊社はその成果物に対して責任を負いません。

目的

本資料で自習もしくはハンズオントレーニングを受講すると、以下が可能となります。

- 仮想ゲストマシンをバックアップするために必要な準備作業ができるようになります。
- 作業時に必要な各種設定項目がわかります。
- 上記により、お客様への製品販売時の作業が実施可能となります。

■ハンズオン環境の場合

以降は、事前に講師から指示された仮想マシン上で作業を実施します。

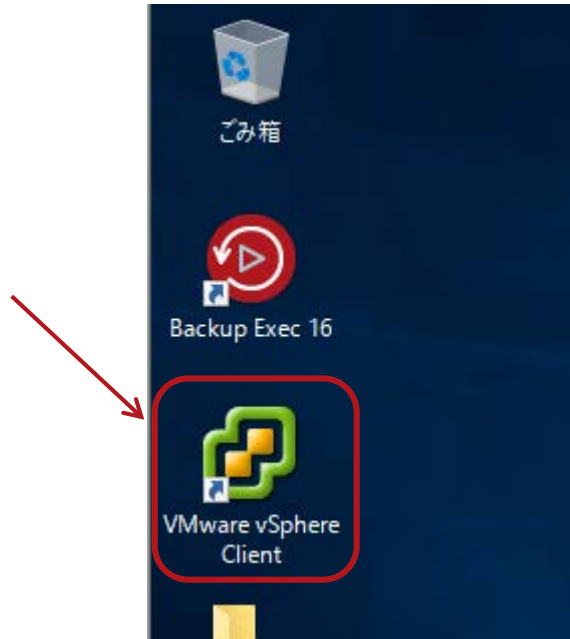
以下を確認して作業を進めてください。

- ・仮想マシン名
- ・アカウント
- ・パスワード

■自習の場合

以降は、記述内容を適宜自習環境の情報と読み替えて作業を実施してください。

1/23 仮想ゲストマシンの起動 その1



準備作業の前に、バックアップ対象の仮想ゲストマシンを起動しておきます。

このハンズオンでは、Backup Exec サーバー「besvr01」のデスクトップ上にあるショートカットで、

VMware vSphere Client

を起動します。

2/23 仮想ゲストマシンの起動 その2

VMware vSphere Client

vmware

VMware vSphere™ Client

vSphere 5.5 では、vSphere のすべての新機能は vSphere Web Client 経由でのみ利用できます。従来の vSphere Client は、vSphere 5.0 と同じ機能セットをサポートして引き続き動作しますが、vSphere 5.5 の新機能は公開されません。

vSphere Client は、vSphere Update Manager (VUM) およびホストクライアントで、いくつかのソリューション (Site Recovery Manager など) と共に引き続き使用されます。

単一のホストを直接管理するには、IP アドレスまたはホスト名を入力します。
複数のホストを管理するには、vCenter Server の IP アドレスまたは名前を入力します。

IP アドレス/名前 (N): 192.168.0.210

ユーザー名 (U): root

パスワード (P): *****

☐ Windows セッションの認証情報を使用する (W)

ログイン (L) 閉じる (C) ヘルプ (H)

VMware vSphere Client を利用して、ESXホストにログインします。

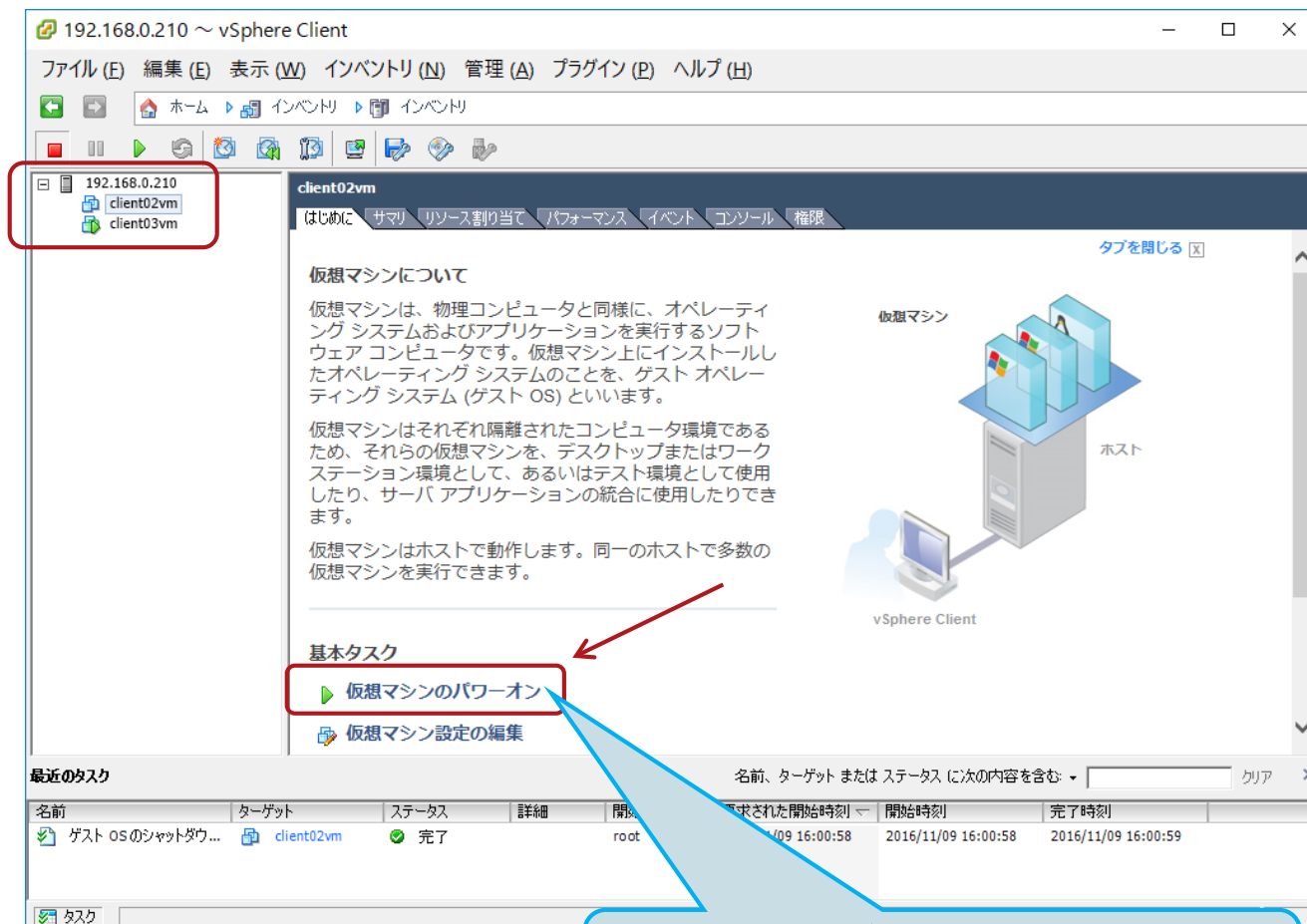
このハンズオンでは、以下のように入力し、「ログイン」をクリックします。

IPアドレス: 192.168.0.210

ユーザー名: root

パスワード: Password#

3/23 仮想ゲストマシンの起動 その3



ツリーを展開してESX配下の仮想ゲストマシンを表示させます。

表示された仮想ゲストマシンをパワーオンして起動します。

今回のハンズオンでは、以下の仮想ゲストマシンを起動します。

- client02vm
- client03vm

仮想マシンが起動していないときは、このように「仮想マシンのパワーオン」となっているので、ここをクリックします。

4/23 GUIからのウィザードの起動

Veritas Backup Exec™ 16

The screenshot shows the Veritas Backup Exec 16 GUI. The 'Backup and Restore' tab is selected. The interface includes a top navigation bar with icons for Home, Backup and Restore, Job Monitor, Storage, and Reports. Below this is a toolbar with various icons for backup operations. The main area displays a table of servers and their backup status. A red box highlights the 'Add Servers' button, with a red arrow pointing to it. The table lists two servers: 'besvr01' and 'client01', both with a status of 'Backup not performed'. Below the table, there is a section for 'client01 details'.

グループ	サーバー	アクティブアラート	状態	過去 7 日間	最終バックアップ	次のバックアップ
すべてのサーバー すべてのサーバーとアプリ... 2 サーバー	besvr01		バックアップされていません	木曜 金曜 土曜 日曜 月曜 火曜 水曜		
破棄サーバー このグループのサーバーは... 0 サーバー	client01		バックアップされていません	木曜 金曜 土曜 日曜 月曜 火曜 水曜		

サーバーの追加

サーバーのリストに 1 台以上のサーバーを追加します。バックアップし、監視するためにサーバーを追加する必要があります。

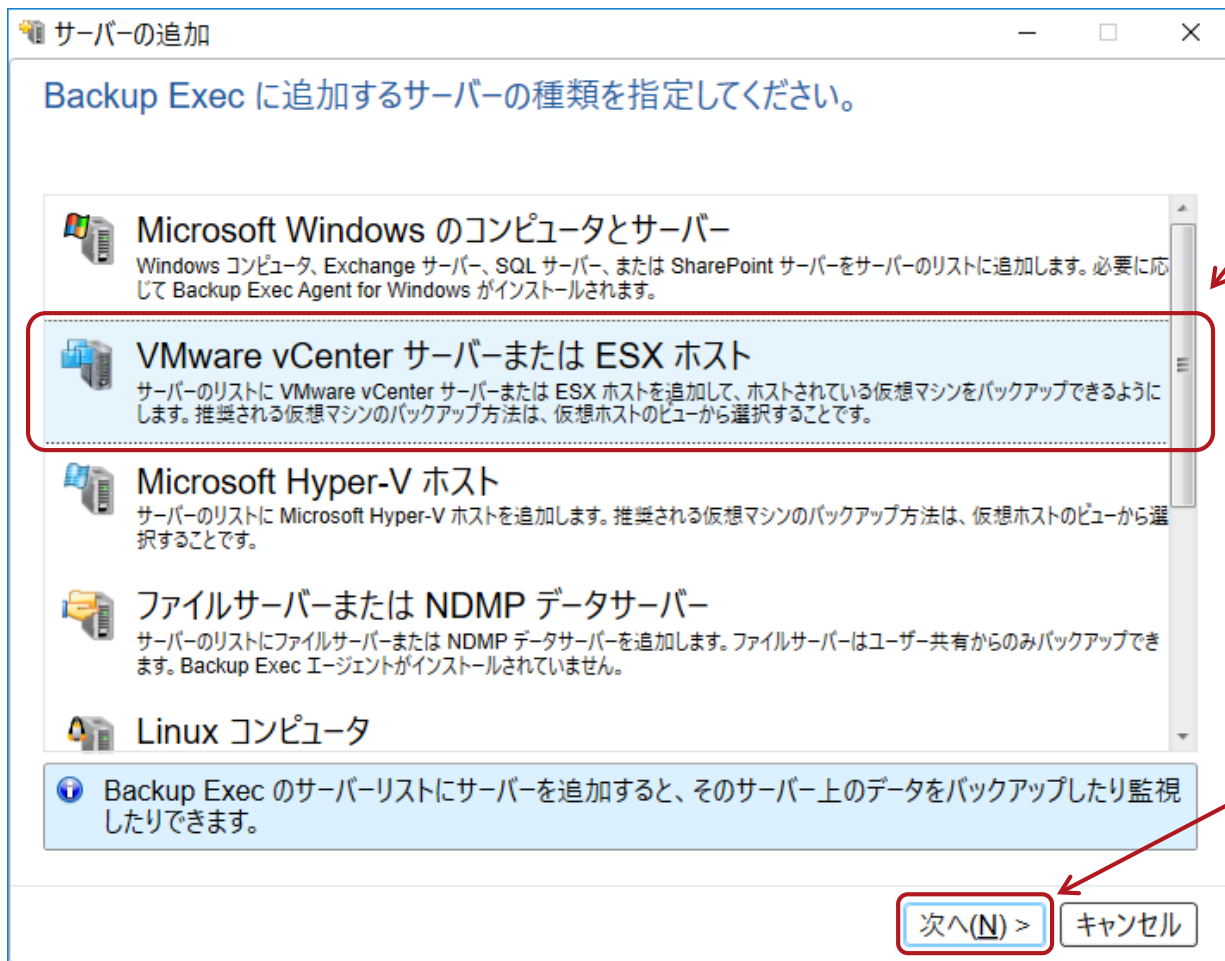
client01 の詳細

Backup Exec の GUI を起動します。

「バックアップとリストア」タブを表示します。

サーバーリストのエリアでマウスを右クリックすると、「サーバーの追加」が表示されるので、をクリックします。

5/23 追加するサーバーの種類を選択



ウィザード「サーバーの追加」が起動します。

Backup Exec に追加するサーバーの種類を指定する画面が表示されます。

「VMware vCenter または ESX ホスト」を選択し「次へ」をクリックします。

VMware のバックアップ用に専用のプロキシサーバを別途構築する必要はありません。Backup Exec自身が、直接 vCenter や ESXi と通信してバックアップ可能なためです。

専用プロキシ不要

VERITAS

7/23 ホスト名/IPアドレスの登録

サーバーの追加

何をしますか?

☒ VMware vCenter サーバーまたは ESX ホストをサーバーリストに追加する(A)

名前または IP アドレス(M): 192.168.0.210
例: vCenter.domain.com:443

説明(D):

☒ 仮想ホストを追加したら、その仮想マシンに Backup Exec Agent for Windows をインストールする(S)

仮想マシンに Agent for Windows をインストールすると、次の利点があります。

- * Microsoft Exchange、SQL、Active Directory、および SharePoint のデータの個別リカバリを有効にします。
- * 必要に応じてログの切り捨てを有効にします。
- * 仮想マシンへの直接のリストア操作を有効にします。

仮想ホストを介した仮想マシンのバックアップには、Agent for Windows は必要ありません。仮想ホストを介して仮想マシンをバックアップする場合、Backup Exec はバックアップに Agent for Windows を使用しません。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

仮想ホストの登録時に、簡単に仮想マシンにWindows エージェントをインストールできるため、VADPのバックアップと、物理マシン同様のエージェント経由のバックアップを簡単に併用できます。

ここでは、vCenter サーバーもしくは ESX ホストを登録します。

このハンズオンでは、ESXのIPアドレス、

192.168.0.210

を登録します。

また、「仮想ホストを登録したら、・・・」のチェックボックスにもチェックを入れます。

注) 仮想マシン用のバックアップ方式(VADP)のみの場合には、Windows エージェントのインストールは不要です。

「次へ」をクリックします。

8/23 ログオンアカウントの追加 その1

サーバーの追加

使用するログオンアカウントを指定してください。

ログアカウント(L): システムログオンアカウント

追加/編集(E)

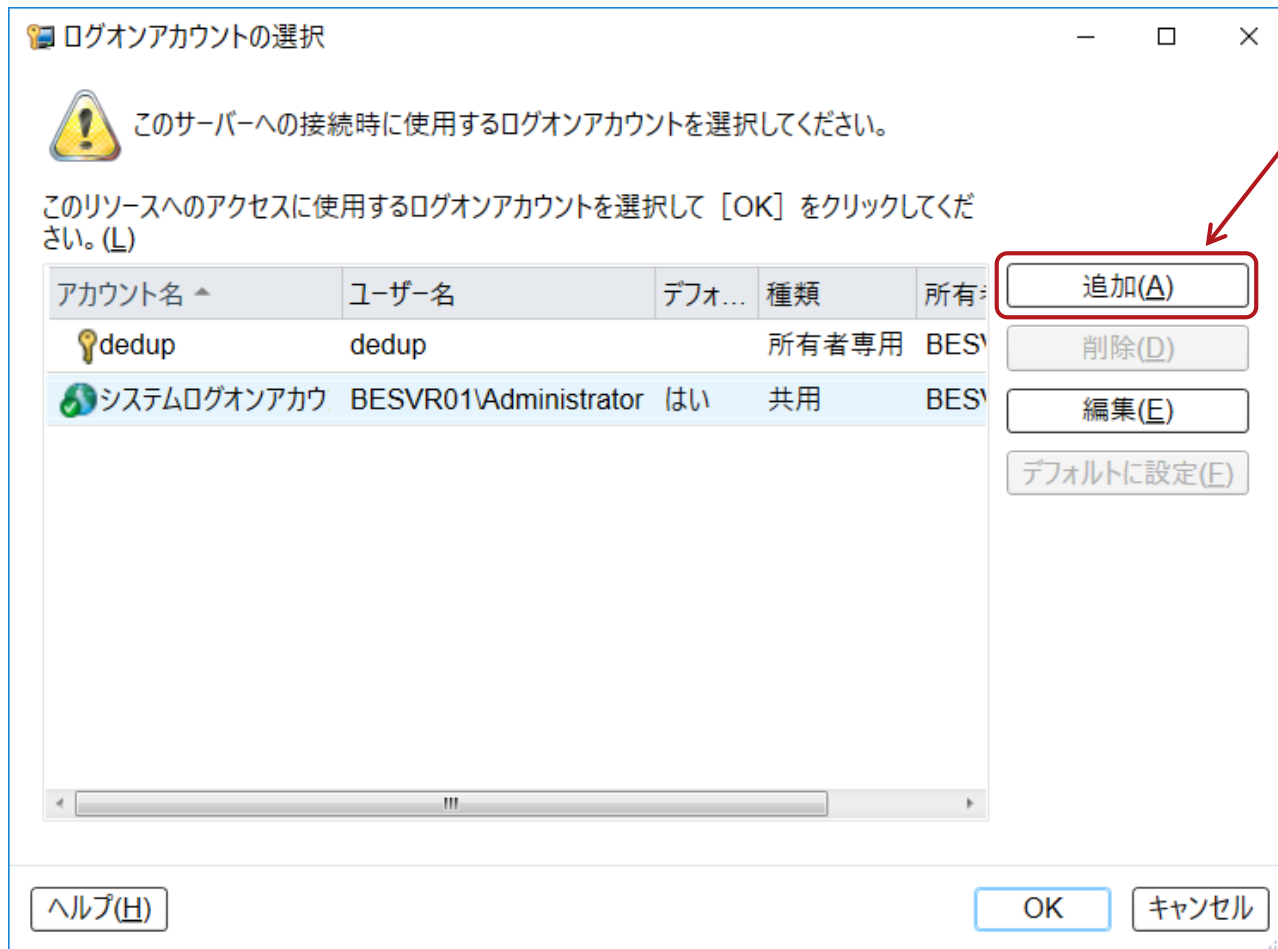
ログオンアカウントとは

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

仮想ホストに接続するためのログオンアカウントを登録します。

仮想環境独自のアカウントを登録するために、「追加/編集」をクリックします。

9/23 ログオンアカウントの追加 その2



「ログオンアカウントの選択」画面が表示されます。

「追加」をクリックします。

10/23 ログオンアカウントの追加 その3

ログオンクレデンシャルの追加

アカウントクレデンシャル

ユーザー名(U): root

パスワード(P):

パスワードの確認入力(C):

アカウント名(A): root

注意(N):

☒ 所有者専用ログオンアカウント(R)

☐ デフォルトアカウント(E)

ヘルプ(H) OK キャンセル

「ログオンクレデンシャルの追加」の画面が表示されます。

このハンズオンでは、以下の内容で登録します。

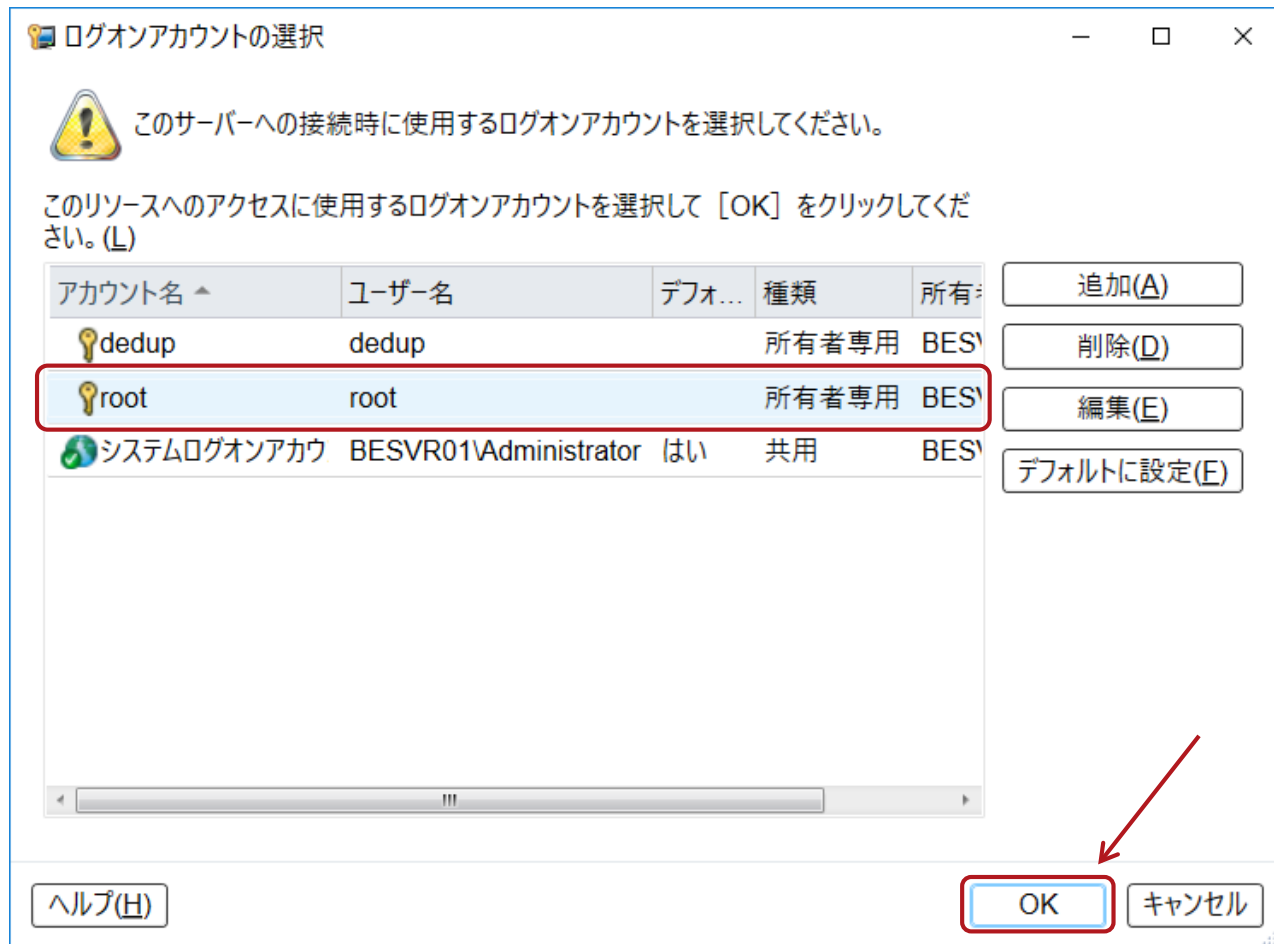
ユーザー名 : root

パスワード : Password#

その後、「OK」をクリックします。

バックアップ対象用に、複数のログオンクレデンシャルを登録する場合、識別しやすい「アカウント名」を設定すると管理しやすいです。
例) 「esx01用管理アカウント」、Veritas.com用ドメインアカウント」

11/23 ログオンアカウントの追加 その4



「ログオンアカウントの選択」画面に戻ります。

そこに今追加したアカウントが表示され、選択されていることを確認します。

その後、「OK」をクリックします。

12/23 ログオンアカウントの追加 その5

サーバーの追加

使用するログオンアカウントを指定してください。

ログアカウント(L): root

追加/編集(E)

ログオンアカウントとは

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

元のログオンアカウントの選択画面に戻ります。

先ほど登録したアカウントが選択されていることを確認します。

その後、「次へ」をクリックします。

13/23 概略の表示

サーバーの追加

概略

追加するサーバーの種類
VMware vCenter サーバーまたは ESX ホスト

VMware vCenter サーバーまたは ESX ホストの追加
名前: 192.168.0.210
説明:

インストールオプション
仮想ホストを追加した後に、Backup Exec Agent for Windows をゲスト仮想マシンにインストールする: はい

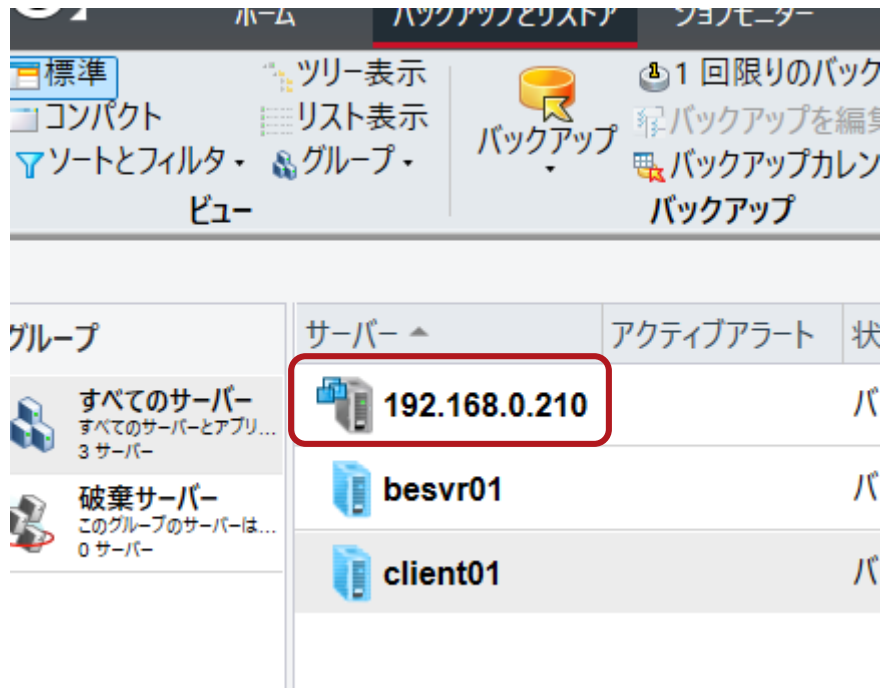
ログオンアカウント
root

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

登録内容の概略画面になります。

内容を確認して、「次へ」をクリックします。

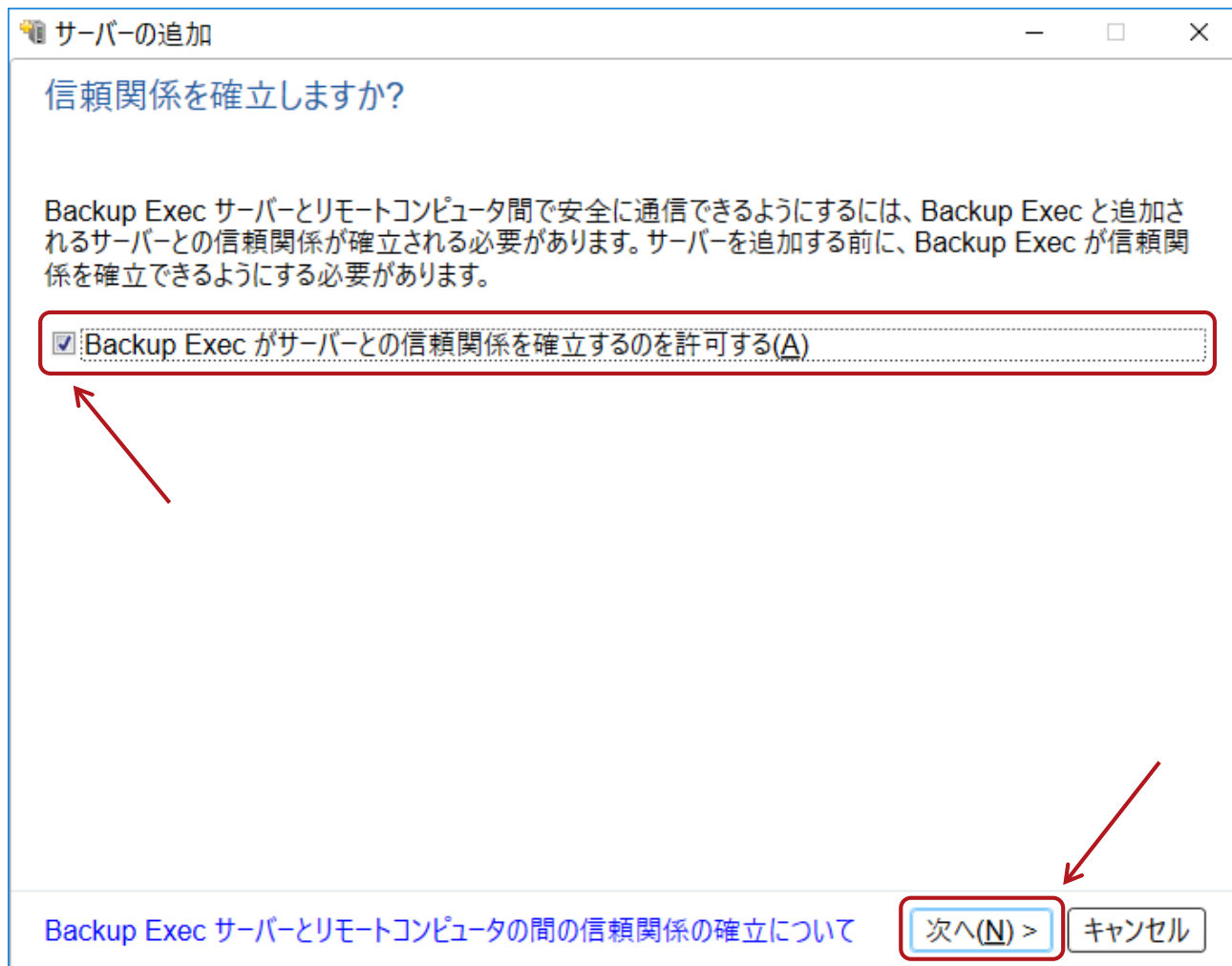
14/23 GUI 上での確認



実際には、この時点で Backup Execの GUI上には、仮想ホストが登録されています。

「サーバーの追加」ウィザードの画面をずらすと、Backup ExecのGUI上で登録状態が確認できます。

15/23 信頼関係の確立



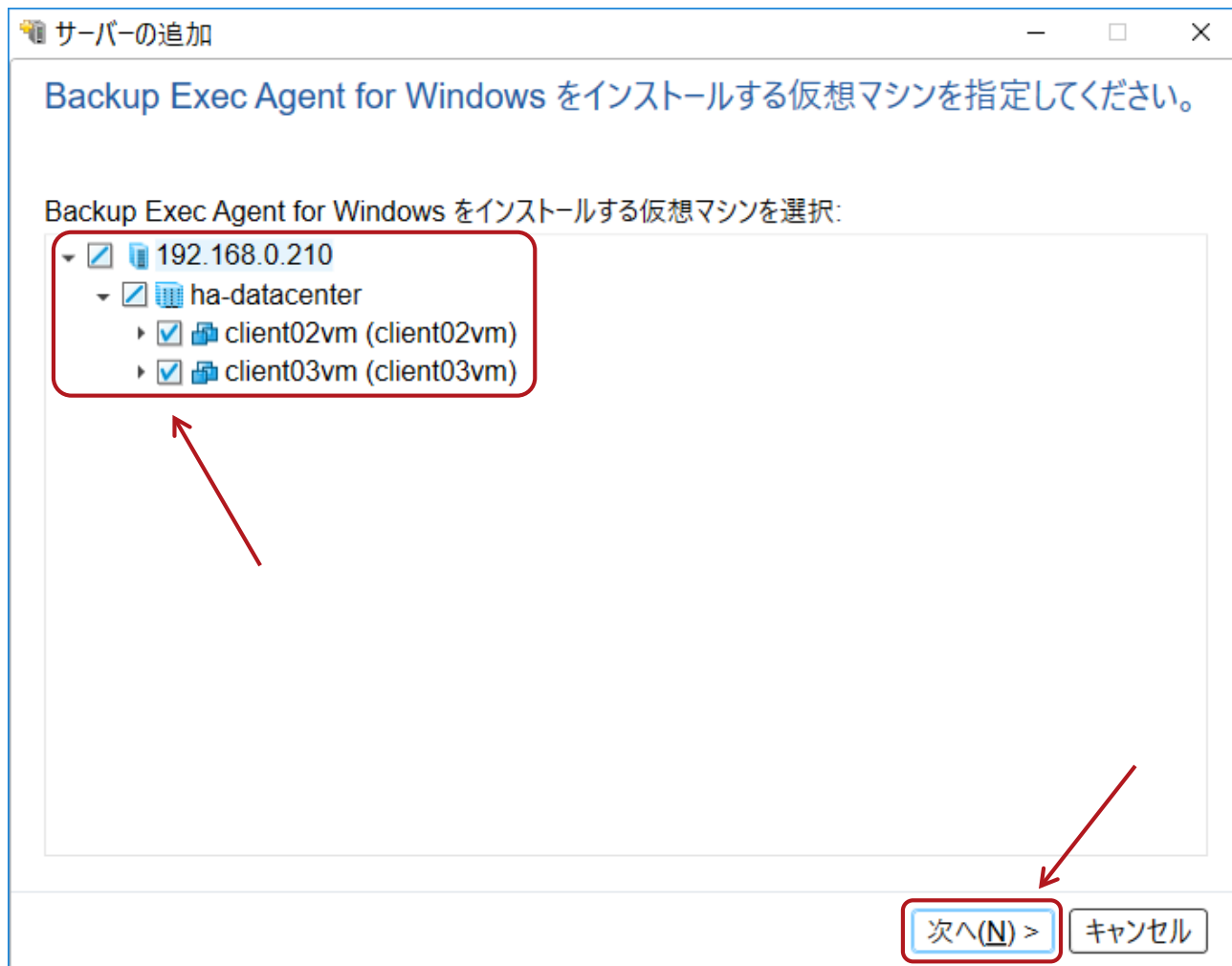
引き続き、ウィザード上では、
「信頼関係を確立しますか？」

の確認画面が表示されます。

画面上のチェックボックスに
チェックを入れて「次へ」をクリックします。

ここからの操作の多くは、通常のWindows エージェントのインストールと同様です。

16/23 インストール対象仮想マシンの指定



エージェントをインストールする仮想マシンを選択します。

このハンズオンでは、表示された2台の仮想マシンの両方を選択します。

「次へ」をクリックします。

※)実機作業時は、必要なVMのみを選択して、エージェントをインストールします。繰り返しますが、仮想マシン用のバックアップ方式(VADP)のみの場合には、Windowsエージェントのインストールは不要です。

17/23 ログオンアカウントの指定

サーバーの追加

Backup Exec Agent for Windows をインストールする仮想マシンを指定してください。

仮想マシン ▲	ログオンアカウント	削除(D)
client02vm (client02vm)	オンライン システムログオンアカウント ▼	
client03vm (client03vm)	オンライン システムログオンアカウント ▼	

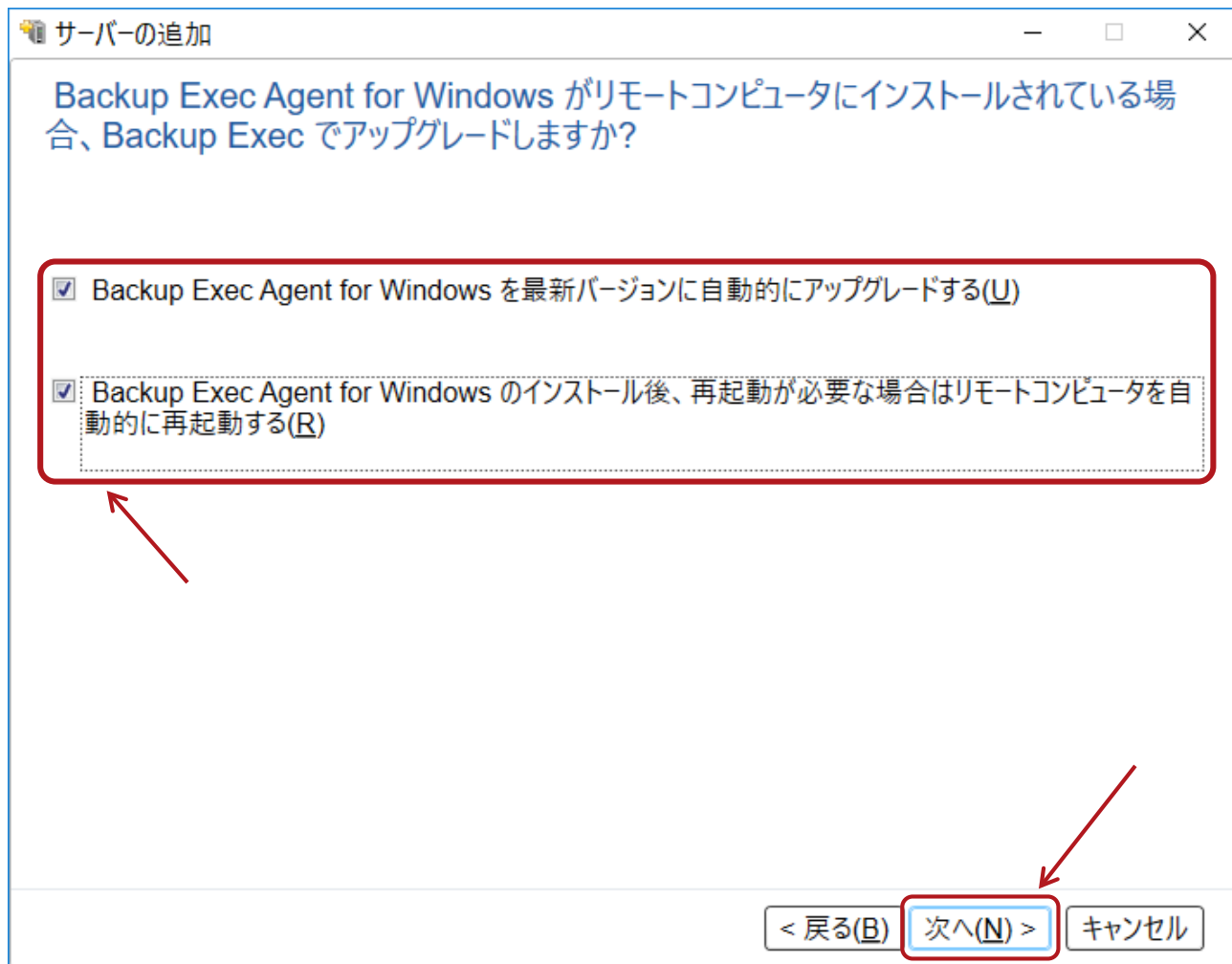
< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

各仮想マシンに接続するためのログオンアカウントを選択します。個別に設定可能です。

このハンズオンでは、デフォルトのアカウントを利用します。

「次へ」をクリックします。

18/23 アップグレードと再起動の指定



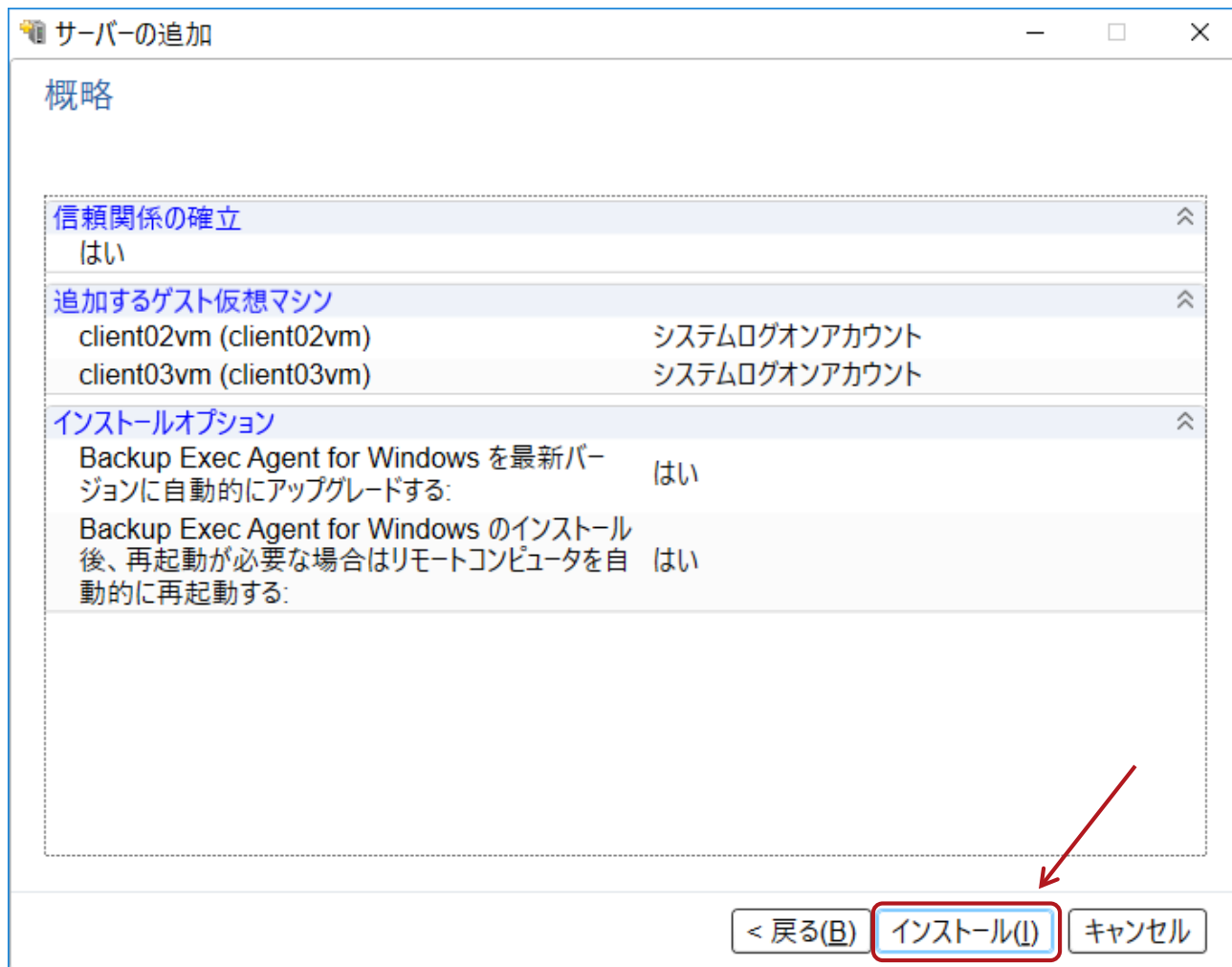
アップグレードと再起動に関する確認画面が表示されます。

必要に応じ、各チェックボックスにチェックを入れます。

このハンズオンでは、両方のチェックボックスにチェックを入れてください。

「次へ」をクリックします。

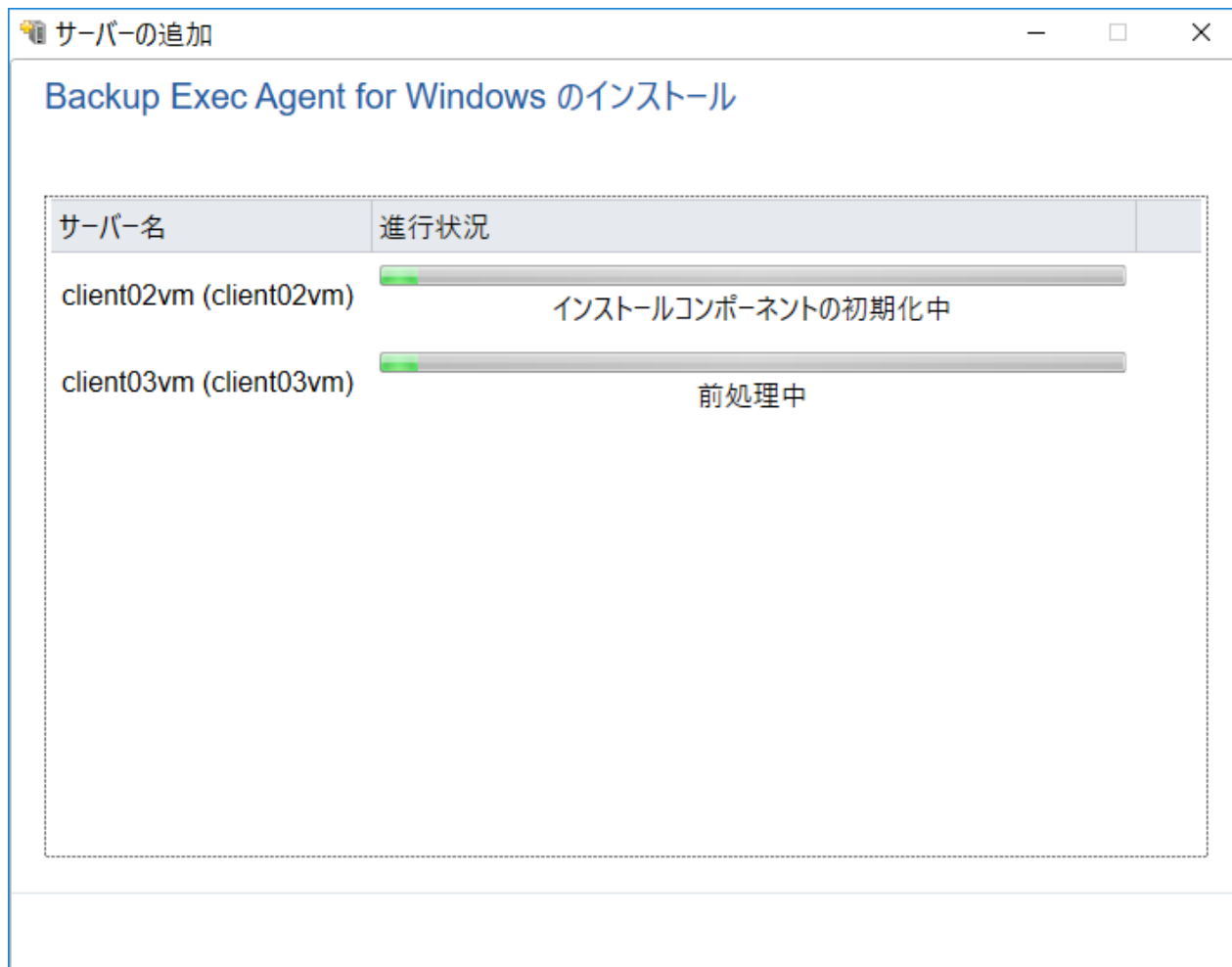
19/23 概略の確認



概略画面が表示されます。

内容を確認後、「インストール」をクリックします。

20/23 エージェントのインストール中

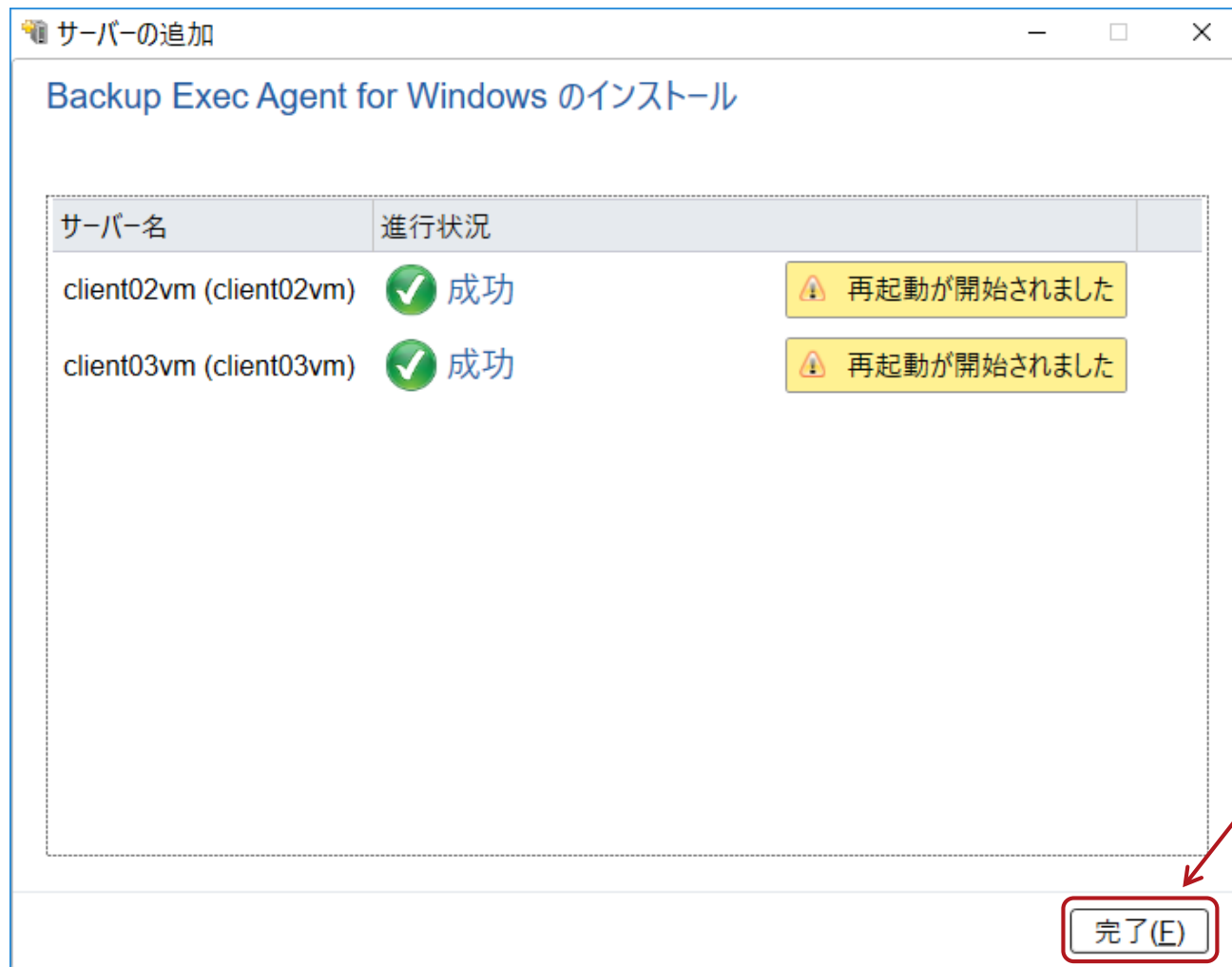


エージェントのインストール状況が表示されます。

インストール完了までお待ちください。

【メモ】Windows エージェントのプッシュインストールを行うためにはFirewallなどの設定変更が必要です。詳細は、管理者ガイド第二章「インストール」の「リモートコンピュータへの Backup Exec のプッシュインストール」をご参照ください。

21/23 エージェントのインストール完了

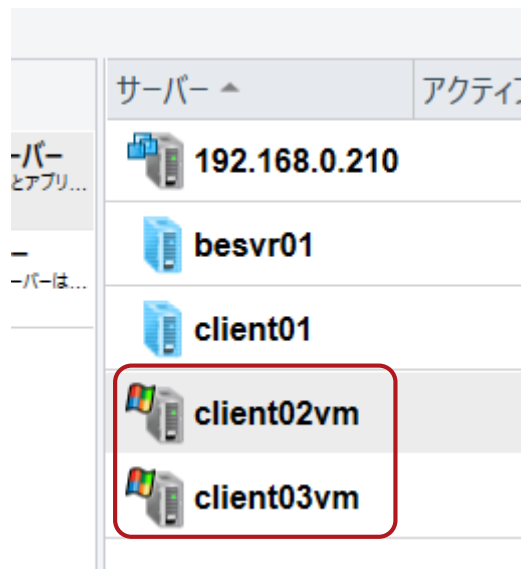


インストールが完了すると左図が表示されます。

「完了」をクリックします。

【注意】本資料P.21に説明のある、再起動のチェックボックスにチェックを入れていない場合は「再起動が必要です」と表示されます。その場合は、手動で追加したコンピュータの再起動を行ってください。

22/23 「バックアップとリストア」タブでの表示

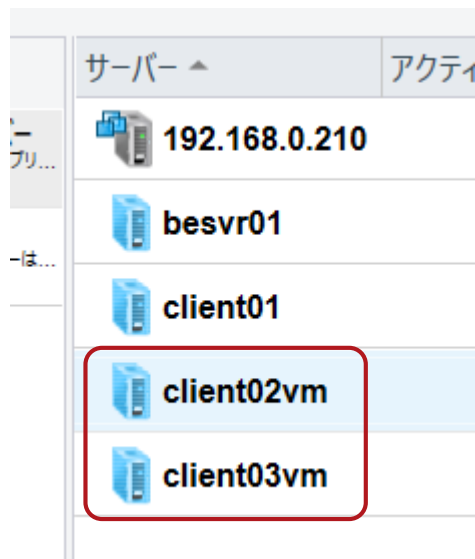


「バックアップとリストア」タブに、追加したコンピューターが表示されます。

インストールしたエージェントの再起動が完了するまで、「状態」は「接続が確立されていません」となります。

※)この時の追加サーバのアイコンは、「物理サーバ」です。

23/23 完了



インストールしたエージェントの再起動が完了すると、「状態」は「バックアップされていません」となります。

これで、エージェントのインストールは完了です。

※)この時の追加サーバのアイコンは、「仮想サーバー」になります。



Thank you!

ベリタステクノロジーズ合同会社
テクノロジーセールス&サービス統括本部
セールスエンジニアリング本部

Copyright © 2016 Veritas Technologies LLC. All rights reserved. Veritas and the Veritas Logo are trademarks or registered trademarks of Veritas Technologies LLC or its affiliates in the U.S. and other countries. Other names may be trademarks of their respective owners.

This document is provided for informational purposes only and is not intended as advertising. All warranties relating to the information in this document, either express or implied, are disclaimed to the maximum extent allowed by law. The information in this document is subject to change without notice.

2016年11月23日版 V1.2

掲載されている各種情報は2016年11月23日現在のものです。これらは予告なく変更される場合があります。
最新情報はWEB,各種お問い合わせ窓口、販売店様での確認をお願いします。